



「森の町内会」による間伐の促進

- 企業・団体が環境貢献の一環として、「間伐に寄与した紙」を使うことで、間伐を促進し、健全な森林の育成を支援

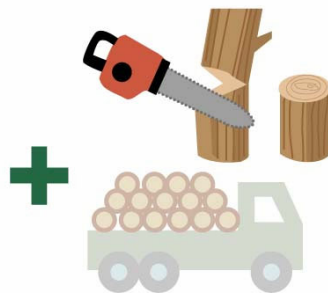
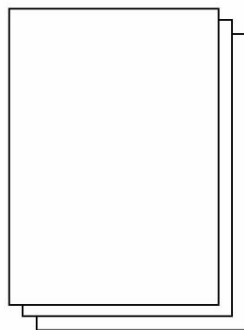
間伐サポーター企業

＜参考＞「森の町内会」による
第1回間伐^(※)

「間伐に寄与した紙」

従来からの紙代

間伐促進費



間伐に必要な費用の不足分
(紙代の約10%)

間伐費用の不足分を
間伐促進費として
間伐サポーター企業が負担
(用紙代の約10%)



※第1回間伐
 (平成17年12月～平成18年1月)
 間伐面積1.8ha
 間伐材:アカマツ86.8m³(47.3t)



無理のない協力の結集で間伐最小単位を確保

「間伐サポーター企業」のご負担例
～A4・32ページ、1万部の印刷の場合～

53.5万円
印刷代全体

紙代 13.5万円

「間伐に寄与した紙」を使用
15万円(1.5万円、約10%up)

全体としては
3%upの
1.5万円のご負担

0.05ha

の間伐を促進

間伐を経済的に
行う最小単位

0.9ha/回

間伐サポーター企業の結集による 最小単位の確保

A社・・・0.05ha分

D社・・・0.3ha分

B社・・・0.1ha分

E社・・・0.5ha分

C社・・・0.2ha分

F社・・・0.7ha分

計 1.85ha > 0.9ha(間伐の最小単位)

「森の町内会」方式 (町内会=助け合い)

間伐サポーター企業1社で0.9ha分を負担するのではなく、多くの企業が結集することにより、無理なく継続して間伐を促進



「森の町内会」活動の実績①(平成19年9月末現在)

＜間伐サポーター企業＞

間伐サポーター企業	28社・団体 旭硝子、アサヒビール、伊藤園、岩手県岩泉町、 エーランチ、荏原製作所、関電工、キッズシティ ジャパン、木村木材工業、郷商事、新神戸電機、住 友金属鉱山、西友、ソニー、第一三共、大日本印刷、 田中貴金属工業、田中貴金属ジュエリー、東芝、東 京電力、東電環境エンジニアリング、東電工業、東 電不動産、パレスホテル、日立電線、富士通、モス フードサービス、YKK AP (五十音順)
「間伐に寄与した紙」の使用量	101.2t(製品重量) ・印刷物の総点数 88点 ・印刷物の総発行部数 170万部





「森の町内会」活動の実績②(平成19年9月末現在)

<森づくりの現場>

間伐実施のパートナー	岩手県岩泉町
間伐の実施回数 	4回 第1回 平成17年12月～平成18年1月 第2回 平成18年8月 第3回 平成18年12月～平成19年1月 第4回 平成19年6月～平成19年10月 第5回 平成19年10月～平成19年12月(予定)
間伐面積	6.93ha (50.9t/年のCO2吸収に寄与)
間伐材の出荷数量	アカマツ 217m ³ (チップ化後、117.3t)

<「間伐に寄与した紙」づくり>

協力製紙メーカー	三菱製紙八戸工場
「間伐に寄与した紙」の生産量	122.2t(製品重量)
「間伐に寄与した紙」の生産ルール	「森の町内会」指定の間伐材と同重量の紙を「間伐に寄与した紙」とするクレジット方式 (紙の生産を先行した場合は必ずその分の間伐を実施)
紙の種類	印刷用紙 6品種(FSC認証紙)・・・ご要望に応じ品種の拡大を検討 ※品質は一般の用紙と全く同じ